

6、閉會の辭

西 浦 宇 吉

本日向ふ一ヶ年間の運動方針を決断したのであるが綱領の再  
 検討に就ては同盟自体成は組織でも注目してゐるのだ、我が  
 官榮労働の運動方針は何等空なる事なし。  
 近年繰出する団体で団体尊重が叫ばれてゐるか我が同盟は創  
 立當時より労働者の待遇改善に就いても団体と言も事を忘れ  
 たる事はない、我が組合内に唯一人たりとも疑義を持つ者あ  
 つてはならぬ、この氣持を同盟にかにするのである特に日本  
 主戦を掲げて運動する必要はない。  
 適當なる綱領を作り大同大言にて決定する事なつたか中央  
 委員諸君、並各団体の方は通りなき様傳へられたい。  
 役員は留任に決定したが今後何にも出来ず申辭がないか、今  
 後共役員一同全力を盡す新役員に代り御挨拶を兼ね閉會の辭

とする。

○ 附 記

翌十八日西浦宇吉、川村休太郎、渡邊年之助の三名は造兵廠  
 小倉工廠長を訪問したるも不在の爲上は庶務課長と會見し組  
 合側より

工廠は小倉移轉後組合に對する態度が變り労働組合不必  
 論さへあると聞くが我組合は創立以來數十年を経過する今日  
 是其の健全なることは當局も熟知の筈であるか獨り小倉のみ  
 其の方針を變更されたるは如何  
 と述べたるに庶務課長より  
 工廠の方針は別段從來と變りたる事なしと回答ありたる爲組  
 合側はそれ以上追問することなく辭去したり。